



心踊る、文化咲く——
第41回 国民文化祭 第26回 全国障害者芸術・文化祭
よさこい高知文化祭2026
令和8年10月25日(日)~12月6日(日)

開幕まで **150** 日



コラム VOL.4

【文化交流事業】連句の祭典のご紹介

「寺田寅彦が愛した連句を南国土佐で楽しむ」をテーマに、寺田寅彦の連句にまつわる講演会や連句の実作会等が開催されるほか、本大会前日には、寺田寅彦ゆかりの地を巡る吟行会も行われます。全国から連句愛好者が集うこの機に、連句文化に触れてみませんか。詳細はチラシをご覧ください！



Q

どんな
イベント？

参加申込について

応募方法 郵送またはメールにてご応募
ください。
※問合せ先はチラシに掲載
支払方法 銀行振込

交流会

令和8年11月14日(土)
受付 17:15~
開始 18:00~
会場 高知城ホール4階多目的ホール
参加費 7,000円

吟行会 (寺田寅彦ゆかりの地ウォーキング)

令和8年11月14日(土)
時間 寺田寅彦銅像前を13:30出発
寺田寅彦記念館に15:00到着
吟行地 寺田寅彦ゆかりの神社や文学碑
参加費 無料

本大会

令和8年11月15日(日)
受付 9:30~
時間 10:00~15:30
会場 オーテピア高知図書館4階
参加費 3,500円(昼食代含む)

Q

連句って
よく知らないし…

連句は、最初の句に対し、その情景から次の句を想像し、複数人で長句(五七五)と短句(七七)を詠み継いでいく問答風の文学です。連句の座(連句を作るグループ)には、参加者から出された句の選句と進行を担う捌き(さばき)とよばれる進行役がいて、現代で言うところのクラブやイベントの『DJ』のようなものといえイメージが湧きやすいかもしれません。

参加者の句(トラック)の文脈を把握し、一つのスタイルに偏りすぎず、その場のノリを活かしたり空気を読みながら心地よいグルーブを生み出す。気づけば一体感のある作品が出来上がっていたり。これが連句の醍醐味です。連句って、皆でクラブで踊ったり歌ったりするのと似ているのかもしれないね。

連

句

